1 行あけ

書式確認

Check：和文題目
□ゴシック体で 20pt
□中央揃え

2 行あけ

Check：和文著者
□明朝体で 12pt
□中央揃え
□責任著者に*

○○○○[1]*・△△△[2]・□□□□[3]

1 行あけ

マージンは左右 10mm 余分に

マージンは左右 10mm 余分に

Check：和文概要
□明朝体で9pt
□7行以内

1 行あけ

キーワード：○○○○，○○○○，○○○○○○，○○○

Check：和文キーワード
□明朝体で 10pt
□3〜5 語

Check　□章題目の上側は２行あけ

1．見出しが2行以上になる場合にはインデントして折り返す

Check　□章題目の下側は１行あけ

(1) 見出しが2行以上になる場合にはインデントして折り返す

Check：本文(日本語の論文)
□明朝体で 10pt
□英数字は Times
□句読点はカンマ「，」とピリオド「．」

Check　□節題目の上側は１行あけ

(2) ▲▲▲▲▲▲▲▲

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(3) ▲▲▲▲▲▲▲▲

Check　□項の上下はあけない

a) ◆◆◆◆◆

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

b) ◆◆◆◆◆

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

c) ◆◆◆◆◆

Check：著者所属
□明朝で 9pt
□ IGS の会員種別(正会員，学生会員，特別会員)を記載
□ 責任著者の e-mail アドレスを記載

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Check：章節項
□章題目と番号はゴシック体で 11pt
□節と項の題目と番号はゴシック体で 10pt
□章番号は１．，２．，３．・・・（全角）
節番号は(1)，(2)，(3)・・・（半角）
項はa)，b)，c)・・・（半角）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2．■■■■■■■■■■■■■■■■■■

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Check：数式
□Times で，本文と同等のサイズ
□配置位置は中央
□式番号は右端，式は半角の両括弧でフォントは Times

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \qquad (1)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \qquad (2)$$

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[1]正会員*，A大学大学院工学研究科　建設環境工学専攻，教授（〒○○○-○○○○　住所　　　　）
[2]特別会員，B株式会社，技術開発部（〒○○○-○○○○　住所　　　　）
[3]学生会員，A大学大学院工学研究科　建設環境工学専攻，（〒○○○-○○○○　住所　　　　）
*責任著者，abcdefg@hijklmn.jp

表-1 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

資料番号	高さ h(m)	幅 w(m)
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65

Check：表
□キャプションは上側に配置．複数行になる場合は，インデントして折り返す
□キャプションは中央位置に配置
□キャプションのサイズは 9pt．表と番号のみゴシック
□配置後の表内部の文字サイズの目安は 9pt
□表とキャプションが離れすぎないように
□表にはマージンを設け，本文や隣接する図表との区別を明確にする

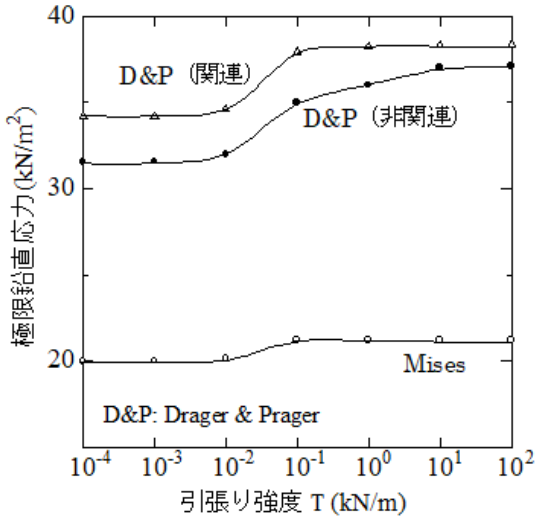
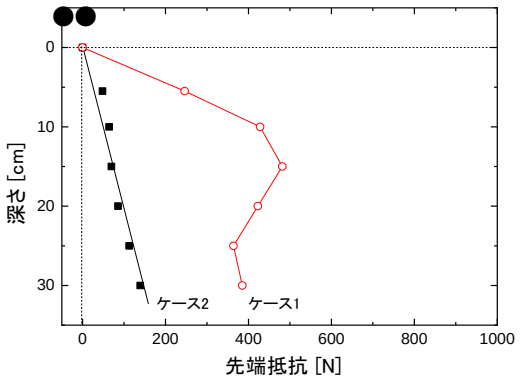


図-1 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●



3．■■■■■■■■■■■■

(1) ▲▲▲▲▲▲▲

(2) ▲▲▲▲▲▲▲

図-2 ●●●●●●●●●●●●

Check：グラフ
□キャプションは下側に配置．複数行になる場合は，インデントして折り返す
□キャプションは中央位置に配置
□キャプションのサイズは 9pt．図と番号のみゴシック
□図とキャプションが離れすぎないように
□図にはマージンを設け，本文や隣接する図表との区別を明確にする
□図はカラーでも構いませんが，モノクロ印刷時でも識別できることが前提です

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Check：まとめ（結論）
□箇条書きでまとめられる場合は 1)，2)，3)とし，インデントして下さい。番号のフォントは Times です
注意：インデントし過ぎないように

4．まとめ

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○
2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○
3) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

謝辞：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Check：参考文献
□9pt
□フォントは日本語は明朝，英数字は Times です
注意：読者が参照できる文献であることが前提です

参考文献

1) Hill, R.: A self-consistent mechanics of composite materials, *J. Mech. Phys. Solids*, Vol.13, pp. 213-222, 1965.
2) Blevins, R.D.: *Flow-Induced Vibration*, 2nd ed., Van Nostrand Reinhold, New York, 1990.
3) Kamiadakis, G.E, Orszag S.A. and Yakhot, V.: Renormalization group theory simulation of transitional and turbulent flow over a backward-facing step, *Large Eddy Simulation of Complex Engineering and Geophysical Flows*, Galperin, B. and Orszag, S.A. eds., Cambridge University Press, Cambridge, pp. 159-177, 1993.
4) ファン，Y.C.：固体の力学／理論，大橋義夫，村上澄男共訳，培風館，1970.
5) 赤木俊允：ジオシンセティックス使用量のアンケート調査結果，ジオシンセティックス技術情報，Vol. 13，No. 1，国際ジオシンセティックス学会日本支部，1997.

Check：英文題目
□Times で 12pt，大文字
□中央揃え

2 行あけ

PRINT SAMPLE FOR JAPANESE MANUSCRIPT FOR JOUNALS OF IGS-JC

1 行あけ

○○○○，△△△ and □□□□

□Times，12pt

1 行あけ

Check：英文概要
□Times で 9pt
□最大 7 行

1 行あけ

KEYWORDS: ○○○○，○○○○，○○○○○○，○○○

□Times，10pt

マージンは左右 10mm 余分に

マージンは左右 10mm 余分に